

ゆうかり放送委員会提供
ゆうかりに乾杯
 第103回放送の概要 (2015年10月24日放送)

パーソナリティ
 さくら
 (安本久美子)
 たろう
 (佃 由晃)
 なか
 (中嶋邦弘)
 かりん
 (妹尾優香)
 あな
 (岸本幸恵)



ミキサー
 門ちゃん
 (門田成延)

相談役
 わだかん
 (和田幹司)

会計
 小山俊則

(CM) 「朝夕には、秋の深まりを感じる今日この頃、暖かいカフェオレは、いかがでしょうか。今年で創業92年の エキストラコーヒーでは、田辺真人先生のラベルデザインによる `カフェオレベース`を好評発売中。一度、お試しください。」
 本日はエキストラ珈琲様 (TEL078-671-0135) のご協力をいただきました。

(CM)川柳は見た、聞いた方がどのように解釈しようと全く自由です。では川柳を三句、
 「ゆうかりに想いを懸けて多士済々」
 「酔い醒めて昨夜の修羅場そっと聞き」
 「宿帳に夫婦と書いた字が乱れ」
 本日は、このような川柳を徒然なるままに作って遊んでいる川柳同好会様のご協力を頂きました。

1. ゲストコーナー(1) 兵庫高校OBハンドボール部
69 陽会：岡田均さん、松本裕行さん、和田成生さん 72 陽会：猿丸正悟さん、柏原かおりさん

1. ハンドボールとは？
 ゴールキーパー1人を含む7人对7人でプレイする。コート大きさは40m×20m。バスケットボールより若干広い。投げたボールがゴールに入ると1点。試合時間は、中高生は25分+25分で、一般は30分+30分。ゴールの大きさは男性が両手を広げて届くかどうかぐらいのサイズ。半円状の6mラインの外からシュートする。6人全員で攻めて全員で守る。守る時は、6人全員が6mラインに横並びになり、攻める側は少し離れたところに3人、サイドに2人、そしてポストプレイヤーは相手ディフェンスの間にゴールに背を向けて入り込み、近い位置でのシュートのチャンスをねらう。サッカーのPKにあたるペナルティスローもある。普通は、シュートしたら、全員がすぐにもどって守るので、試合中は全員が

ずっと走っていなければならない。

ハンドボールの魅力は、そのスピード感と、ラグビーほどではないが、かなり身体接触があり、激しいスポーツであること。さらに岡田さんは、必ずしも体格に恵まれていなくても、それをいかした攻め方ができるところも面白いと感じているようだ。松本さんは、中学ではバレー部だったが、高校では背の高さから活躍が難しいと思い、強豪中学出身の先輩や同級生がいるハンドボールに注目し、強くなることを目標に入部したということで、高校から始めても強くなる可能性が十分あるスポーツなのだそうだ。

2. 高校時代の練習は？

顧問の先生ではなく、キャプテンの岡田さんが中心となって練習メニューを組んだ。グラウンドがせまくコートは通常半面しかとれなかったが、有効に活用できるように練習した。生徒だけなので厳しさはなかったかというそうではなく、和田さんによると、岡田さんは先輩からの指導方法を引き継ぎ、とてもまじめに練習したそうだ。3年生当時、部員数は約30人だった。週末や夏休みの合宿、強化練習などにOBが来られると大変厳しい練習になった。スタンドの上から投げたり蹴ったりしたボールを何10回とりに行く「ノック」では、今では考えられないが、うさぎ跳びでグラウンドのはしからスタンドまで戻り、一番上まで駆け上がるというような過酷な練習もあった。

3. 戦績は？

69陽会の1年生、2年生の時、一つ先輩である68陽会の川崎さんという強いキャプテンの指導で鍛えられたので、技術が向上し、神戸市では常に上位だった。県でも勝ち進み近畿大会に進んだ。目標としていた全国大会には進めなかったもののとても良い経験となった。岡田さんと松本さんは、強豪明石高校が主力の国体の兵庫県選抜メンバーに選ばれ、全国大会に進んだので、島田杯（メダル）をもらったそうで、スタジオにお持ちいただいた。

4. どうしてマネージャーに？

柏原さんは、高校時代、2年上のマネージャーの先輩に誘われて入部したそうだ。今もOBチームの試合ではスコアをつけたりしている。続けている理由は、ハン



部員（69～71 陽会）



試合でのシュートの瞬間



第24回近畿高校ハンドボール選手権大会



島田杯のメダル

ドボールというスポーツが本当に好きなこと、サポートする役割が向いていること、さらにOB 総会などがうまく運営できた時の密かな満足感も感じるとか。猿丸さんによると、高校時代、普段はよく働いてくれていたが、練習後にお茶を出さなかったことがあり、同期の部員が部室に呼び出して、ふまじめだ、とマネージャーを泣かせてしまったこともあるそうだ。

5. 高校時代、お互いのことをどう思っていた？

岡田さん：「まじめ」私生活もとてもまじめなキャプテン。女子の隠れファンもいたそうだが・・・。

松本さん：「すばらしい運動神経とジャンプ力」練習にはストイックだったが常に彼女がいてうらやましかった。

和田さん：「天才」厳しい練習にもきちんと参加しているのに勉強の成績はとてもよかった。いつ勉強しているのかと思っていた。猿丸さん：練習はまじめなキャプテンだったが、他の部のマネージャーの彼女といつも一緒に帰るために練習時間を切り上げて部員から文句を言われていた。

柏原さん：勉強せずおしゃれのことばかり気にしていた。マネージャーとしては後輩に慕われてよくやっていた。

2. ミュージック：YOU'RE MY BEST FRIEND (クイーン)

ハンドボール部 69 陽会の村上さんの選んだ曲。当時女子と LP を貸し借りした甘酸っぱい青春の思い出の曲。

3. ゲストコーナ (2)

6. ハンドボール部の歴史

戦前の射撃部が、戦後スポーツをということでハンドボール部になった。創部 70 年、部歌もある伝統ある部。10 数年前に部員不足で休部になっていたが、101 陽会の 3 人の子たちが高校 1 年の時にハンドボールの動画を見て、かっこいいと自分たちで活動を始めた。現顧問の大前先生が彼らを応援してくださり、部員が増え、部として復活できた。そして復活を待ち望んでいた OB の耳に入り、すぐに OB も支援を始めた。OB チームのユーカリクラブと練習するなど、

ハンドボール未経験者だったにも関わらず、運動能力も高い彼らは熱心に活動し、5 部リーグから 4 部リーグに昇格して卒業した。今も現役の応援や指導にきてくれている。



ユーカリクラブ



2015 年 OB 総会での OB と現役部員

ユーカリクラブは、30代から40代のOBを中心に活動をしており、神戸市の大会でもいい成績をおさめている。さらに、今年のOB総会の際に、65陽会の金丸さん的一声で、50歳以上のメンバーでユーカリクラブに勝つことを宣言して新OBチーム「ゴールデンボーイズ」が結成された。3月の試合に出場し、来年のOB総会ではユーカリクラブと対戦し、勝てば「ユーカリクラブ」の名前をもらおうぞ、と宣言された。こうしてみんなが現役、そしてハンドボールを盛り上げていきたいと考えているとのことだ。

7. 今の現役チームは？

今の高校生は、昔にくらべ静かでおっとりした子たちが多いようだ。休部で先輩からの指導の伝統が途切れているため、あいさつなども一つずつ伝えることが必要。ちょうど彼らのお父さんお母さん世代のOBが多いので、口うるさく注意しているが素直に受け止めてくれている。猿丸さんが監督として、またユーカリクラブのメンバーも指導しているが、普段から厳しいばかりでは続かないので、松本さん、岡田さん、和田さんをはじめとした先輩OBの方が少しずつ注意したりフォローしたりと協力してサポートしていくそうだ。

8. 今後の活動や抱負は？

岡田さん：ハンドボール部だけではなく兵庫高校OBのつながりは非常に大切だと思う。これを現役につなげていき、彼らの高校生活を充実したものにするためにサポートしていきたい。

松本さん：チームが強くなるためには人材確保が大事。高校でも、ヨーロッパでとても人気があるハンドボール動画を見せるなど興味を持ってもらう広報が必要だろう。

和田さん：復活したハンドボール部を大事にOBも協力し、これから10年20年以上ずっと続いていくようにしたい。

猿丸さん：これからは、我々OBと、復活後の若いOBを上手につなぐ役割をしていきたい。自分のできることを精一杯一緒にいろいろな活動をしていこうと思う。

柏原さん：現役高校生のサポートはもちろんだが、ハンドボールというスポーツの魅力をみんなに知ってもらいたい。女子日本代表「おりひめジャパン」のオリンピックアジア予選など、ハンドボールの試合をぜひ見ていただきたい。

4. 地域瓦版

兵庫高校同級生（69陽会）で前回放送ゲスト村上明さんの出演バンド「INA2011」のライブが、11月29日（日）神戸マーシービート、14時開演、チャージ500円でワンドリンク付きで開催されます。1、2部はTOTOをたっぷり、3部は懐かしの歌謡曲をニューミュージックにアレンジし演奏されます。

神戸ワインの新種が解禁されます。神戸ワイナリーでは今日、明日、10時～16時、新種まつりが開催されます。入場無料です。

ゆうかりに乾杯の過去の放送音声と文書化した放送概要は、下記URLで視聴いただけます。

<http://yukari.hyogo.jp/>